

可ソバの花フェスタ 2010
可憐な花と味覚でおもてなし

福智町農業総合プロジェクト主催の「ソバの花フェスタ」が、10月24日に上弁城集会所周辺で開催されました。雨の中300人が来場し、毎回好評の手打ちソバが、舌鼓を打つ人の冷えた体を温めました。メインイベントの和田幸二さんによる歌謡ショーでは、フェスタをテーマに作詞・作曲したオリジナル曲が披露され、客席から歓声が飛び交っていました。



↑ 雨上がりの田んぼに、ソバの花に囲まれてはしゃぐ子どもたちの声が響きました。

↓ 緊張のスタートの瞬間。声援に応え、全員が最後まであきらめずゴールしました。



福第5回 福智町ふれあいマラソン大会
福智の風になった小さな背中に大声援

福智町子育て連主催の「ふれあいマラソン大会」が11月14日に彦山川・中元寺川合流点河川敷で開催されました。例年はない汗ばむ陽気に恵まれた中、町内の小学生80人が参加。学年や男女別の6部門で健脚を競いました。沿道の声援を背に、全力で河川敷を駆け抜けた子どもたち。息を切らしながら最後までゴールする姿に、大きな拍手が送られました。

平貴乃花親方・景子夫妻がひらばる幼稚園を訪問
成の大横綱とふれあいのひととき

貴乃花親方と景子夫妻が、11月1日にひらばる幼稚園を訪問しました。22回の優勝を誇る現役時代を知らない園児たちは、貴禄ある姿に戸惑いの表情を浮かべていましたが、親方からの「園長ちゃんちから呼ばれて来ました」の第一声に大爆笑。夫妻の優しい声がけとさわやかな笑顔にすっかり打ち解け、握手や抱っこなど貴重なふれあいを楽しみました。



↑ 優しさにあふれた表情で園児からの言葉を受け止める貴乃花親方と景子夫妻。

↓ お米のすくい取りに熱中する子どもたち、頭上に咲くコスモスと笑顔が満開です。



雨コスモスフェスタ 2010
雨にも負けず咲き誇ったコスモス

花いっぱい運動の会が平成11年から始めた「コスモスフェスタ」が、10月24日に記念すべき10回目の開催を迎えました。例年は町外の参加も多く、にぎわいをみせますが、当日はあいにくの雨模様。少しさびしい会場を励ますように、コスモスが咲き誇りました。その後も1か月にわたって1万㎡の畑をピンクに染めたコスモスは、多くのファンの心を和ませていました。

↓ 手にとって感触や色彩を確かめる上野焼ファン、窯元の敷地内にはお買い得な特売コーナーも設けられました。



秋第15回 上野焼秋の窯開き
秋の上野路を五感で満喫

多くのファンを魅了してやまない伝統的工芸品「上野焼」。今回で15回目を数える「秋の窯開き」が、10月22日から3日間にわたって開催されました。上野焼陶芸館には16窯元の個性豊かな新作やテーマを設けた創作の数々が一堂に会し、ギャラリー陶では花器を生花が彩る「華展」を開催。約5千人の陶芸ファンが400年を超える伝統美に触れました。隣接するふれあい市でも猪汁や地元の農産物が低価格で販売されるなど、来場者は季節の風情を感じながら、上野の魅力を五感で楽しみました。

赤第16回 横浜ベイスターズ杯争奪下関大会
赤池ベアーボーイズが堂々の準優勝

11月6日に下関市で開催された「第16回横浜ベイスターズ杯争奪下関大会」で、赤池ベアーボーイズが準優勝を勝ち取りました。広島や岡山、大分などから強豪が参加したこの大会で、一糸乱れぬチームワークを発揮。決勝まで順当に駒を進めました。決勝戦では1対0と、優勝まであと一歩およびませんでした。次につながる堂々の成績を残しました。



↑ 24人が力を合わせ手に入れた成果、チーム一丸となって次の試合に臨みます。

↓ 竹製の横笛「バーンスリ」が織りなす音色に合わせ、児童がダンスをみせました。



ヒパンチャ・ラマさん伊方小でコンサート
ヒマラヤの大地ではぐくんだ音色で魅了

世界中を舞台にした演奏活動の収益で、故郷ネパールに小学校を建設しているパンチャ・ラマさんが10月27日に伊方小を訪問しました。全校児童約300人から手厚く歓迎され、寄付金を受け取ったラマさんは、精力的な活動展開を子どもたちに約束。同日夜の地域交流センターでの演奏会では、6年生の代表17人と共演し、音とふれあいの空間を共有しました。